

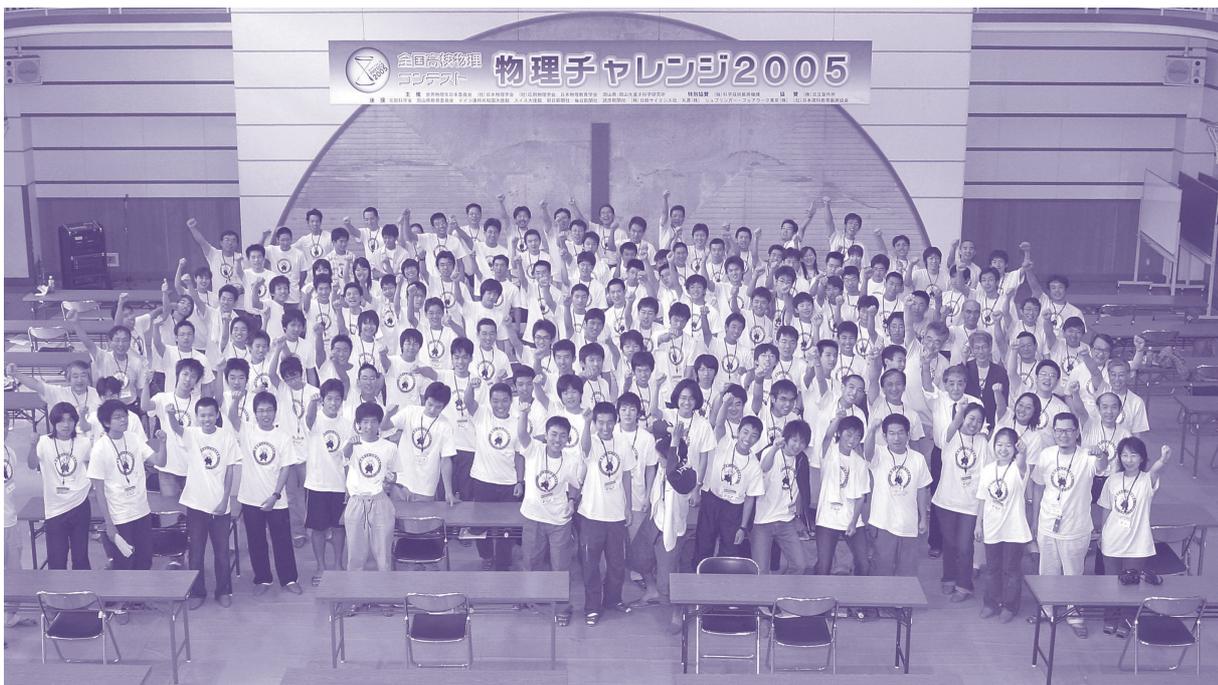


物理好きの諸君、岡山へ来たれ！

第2回全国物理コンテスト
物理チャレンジ2006

募 集 要 項

物理チャレンジは、大学等に入学前の青少年の皆さんを対象として、物理の持つ面白さと楽しさを体験してもらうことを目的とする全国的な催しです。皆さんもチャレンジしてみませんか。



第1回全国物理コンテスト「物理チャレンジ2005」(2005年8月 岡山)

主 催：物理チャレンジ組織委員会

共 催：(社)日本物理学会 (社)応用物理学会 日本物理教育学会 日本生物物理学会
岡山県・岡山光量子科学研究所 (独)理化学研究所 (財)日本科学技術振興財団

特別協賛：独立行政法人科学技術振興機構

後 援：文部科学省 岡山県教育委員会 岡山大学
朝日新聞社 日本経済新聞社 毎日新聞社 読売新聞社 日本放送協会 (以上予定を含む)

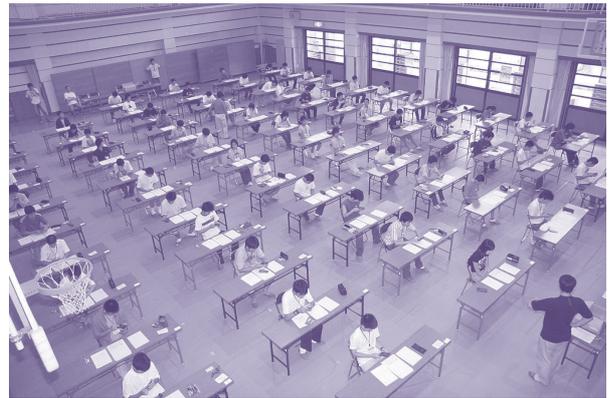
平成18年度 文部科学省「学びんピック」認定 申請中

この催しは2つのステージのコンテストから構成されます。
第1ステージでは、参加を申し込まれた皆さんに理論問題と実験課題を送り、その解答と実験レポートを提出していただきます。

第2ステージでは、第1ステージに参加した皆さんの中から優れた結果を示された100名を選んで、夏休み中に岡山で開催される3泊4日の合宿形式のコンテストに参加していただきます。合宿ではそれぞれ5時間の理論問題コンテストと実験問題コンテストに一人ひとりで取り組み、力を競っていただきます。コンテストで最も優れた実力を示した人には、金賞、銀賞、銅賞、その他の賞が授与されます。

なお合宿期間中にはコンテストばかりではなく、第一線研究者との対話、最先端研究施設の見学、そして参加者同士ならびに参加者と組織委員の先生方との語らいを深める機会なども織り込んであり、物理好きの皆さんには充実した4日間となるでしょう。

物理チャレンジは、国際物理オリンピック※に派遣される日本代表候補の選考を兼ねています。すなわち第2ステージで優秀な実力を示し、かつ翌年の国際物理オリンピックの参加条件（詳細は次のページの「国際物理オリンピック派遣日本代表候補の選考」をご覧ください）を満たす方々には、さらにレベルアップしていただいて、その中から5名の方を国際物理オリンピックに派遣します。これはいわば、物理チャレンジの第3のステージといえます。第2ステージのプログラムも、実はこの国際物理オリンピックのスタイルに準じたものなのです。



物理チャレンジ2005の理論チャレンジの会場風景
(2005年8月、岡山)

※ 国際物理オリンピックは、第1回大会がポーランドのワルシャワで開催され、毎年夏に参加国持ち回りで開催されています。昨年(2005年)はスペインのサラマンカで第36回大会が開催されて、72の国々からの350名余の参加者が競い合いました。今年(2006年)は7月8日から17日までの間、シンガポールで第37回大会が開催されます。2007年には第38回大会がイランで開催される予定です。詳細は国際物理オリンピックのホームページを参照してください。

(<http://www.jyu.fi/tdk/kastdk/olympiads/>)

参加の方法

(1) 参加資格

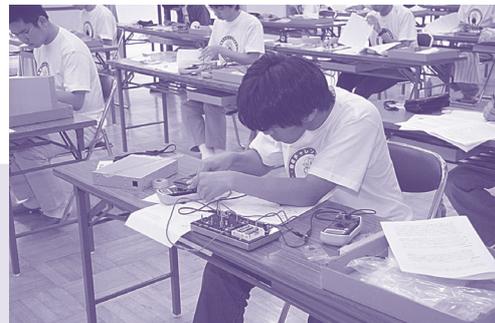
- 物理チャレンジに参加するためには次の条件を満たしていなければなりません。
 - I) 2006年4月1日現在、満20歳未満であること。
 - II) 第2ステージ開催時(2006年7月30日)に高等教育機関(大学・短期大学または高等専門学校第4・5年次)に在籍していないこと。
- 年齢の下限は設けていません。中学生以下でも応募できます。ただし第2ステージは、ハードなスケジュールです。年少の方は予めご相談ください。
- 国籍は不問です。ただし出題・解答は日本語に限定します。

(2) 第1ステージ

- ① 本要項最後のページの「物理チャレンジ参加申込書」をコピーして必要事項を記入し、4月25日(火)(当日消印有効)までに〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2番1号 科学技術館内 物理チャレンジ組織委員会事務局宛に郵送してください。

参加申込書は必要な部数をコピーして使ってください。あるいはホームページからダウンロードすることもできます。

(<http://www.phys-challenge.jp>)



物理チャレンジ2005での実験チャレンジの様子
(2005年8月、岡山)

- ② 参加申込をされた方には「第1ステージ問題(理論と実験)」を4月下旬に本人宛に発送します。
- ③ 参加申込者は、第1ステージ理論問題の解答と実験課題のレポートを5月18日(木)(当日消印有効)までに①と同じ宛先に郵送してください。解答およびレポートの書式は応募問題に指示されています。
- ④ 理論問題解答と実験問題レポートを提出した方々には、6月末までに標準解答と講評をお届けしますので、後々の勉強の参考にしてください。

(3) 第2ステージ

第1ステージの理論問題解答と実験問題レポートにもとづいて、物理チャレンジ組織委員会が、第2ステージへ進む100名を選んで、6月26日(月)までに本人宛に通知します。

第2ステージの詳細

① 会期

2006年7月30日(日)～8月2日(水) (3泊4日)

② 会場

主会場(第1日夕方～第4日昼):

岡山県青少年教育センター閑谷(しずたに)学校

岡山県備前市閑谷784(JR岡山駅から車で約60分)

(<http://www.pref.okayama.jp/kyoiku/sizutani/sizuta.htm>)

開会式場(第1日):

ピュアリティまきび

岡山市下石井2-6-41(JR岡山駅から徒歩約10分)

(<http://www.makibi.jp/index.htm>)

③ 集合と解散

集合場所と日時:

ピュアリティまきび(開会式場)

7月30日(日)13時

解散場所と日時:

岡山県青少年教育センター閑谷学校

8月2日(水)12時30分昼食後解散予定

* 第1日目の集合時から第4日目の解散後、閑谷学校からJR岡山駅または岡山空港までの移動には、貸切りバスを用意します。

④ プログラム

第1日(7月30日) 開会式、講演会、閑谷への移動、
親睦レクリエーション

第2日(7月31日) 理論問題にチャレンジ(5時間)
国宝閑谷学校講堂・資料館見学
フィジックス・ライブ(物理チャレンジ組織委員会メンバーによる
演説実験および物理を通じた交流会)

第3日(8月1日) 実験問題にチャレンジ(5時間)
SPring-8 見学**

第4日(8月2日) 表彰、閉会式

⑤ その他

- I) 第2ステージ参加者には「参加証」と集合場所への経路、持ち物、会期中の生活ルール等の詳細を記した「参加のしおり」をお送りします。
- II) 保護者の承諾書、健康調査・問診表等の書類を提出していただきます。
- III) 参加者が自宅を出てから自宅に帰るまでの間、主催者の負担で国内旅行傷害保険に加入していただきます。

** SPring-8は、理化学研究所と日本原子力研究所(現 日本原子力研究開発機構)が共同して1991年から6年の歳月をかけて兵庫県播磨科学公園都市に建設した世界最大の放射光研究施設です。放射光とは、光速に近い速さで運動する電子の進行方向を電磁石によって曲げる際に放射されるX線から赤外線までの範囲の強い電磁波のことで、物質の構造の解析・分析のための画期的な手段として学術研究、産業応用に利用されています。
(<http://www.spring8.or.jp>)

参加費

参加費は無料です。ただし、第1ステージでは、参加申込書および問題解答・実験問題レポートの郵送料のみ参加者に負担していただきます。

第2ステージでは、自宅から集合場所まで、および解散後のJR岡山駅または岡山空港から自宅までの交通費は自己負担となりますが、集合してから解散するまでの経費は主催者が負担します。

コンテストの出題の範囲

出題の範囲は必ずしも高校物理の範囲に限定されません。ただしその範囲を超える問題には解説やヒントをつけます。出題の水準を示す例題や物理チャレンジ2005での問題、および参考となる図書については、物理チャレンジのホームページに掲載してありますのでご覧ください。
(<http://www.phys-challenge.jp>)

表彰

第2ステージの成績優秀者には国際物理オリンピックに準じて金賞、銀賞、銅賞その他の賞を授与します。上位6名に金賞、続く12名に銀賞、さらに続く12名に銅賞を授与する予定です。

国際物理オリンピック派遣 日本代表候補の選考

物理チャレンジ2006の成績優秀者の中から2007年夏にイランで開催される第38回国際物理オリンピック派遣日本代表の候補者若干名を選出します。ただし、候補者は、国際物理オリンピックの規定により2007年6月30日現在満20歳未満で、かつ高等教育機関(大学・短期大学、または高等専門学校4年生以上)に在学していない人に限定されます。また2006年夏に高等学校3年生の人は2007年には大学等に進学しているものと思われるので、国際物理オリンピック派遣日本代表候補になることができません。

個人情報の管理

物理チャレンジ組織委員会は、物理チャレンジへの参加者およびその保護者に関する個人情報を、物理チャレンジおよび国際物理オリンピックに関する業務に関してのみ収集・利用するものとします。

本件に関する問い合わせ・書類送付先

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2-1
科学技術館内
物理チャレンジ組織委員会事務局

F A X : 03-3212-7790
E-mail : physchal@jsf.or.jp
U R L : <http://www.phys-challenge.jp>

第2回全国物理コンテスト
物理チャレンジ2006参加申込書
(本申込書をコピーして、ご記入のうえ郵送にてお送りください)

募集要項を承諾の上、物理チャレンジ2006への参加申込みをします。

記入年月日：2006年 月 日

フリガナ											
氏名						保護者氏名					印
性別	男・女	生年月日	19	年	月	日	年齢				歳 (2006年4月1日現在)
自宅住所	〒										
	TEL番号：		-		-		FAX番号：		-		-
E-mail：											
学 校	学校名	※国立・公立・私立なども記入してください。 ※高校卒業生は卒業高校名を記入してください。									
	2006年 4月からの 学年	年	高校卒業生は 卒業年月	20	年	月	卒業				
	学校所在地	〒									
都道 府県											
以下、参考のためにご記入をお願いします。											
◎物理チャレンジ2006に応募した動機											

◎物理のクラブ活動、自由研究などの実績がありましたら具体的に記入してください。											

◎物理チャレンジ2006の募集をどうやって知りましたか？(該当項目に○をつけ()内に記入してください)											
1.ポスター 2.募集要項 3.先生から 4.ホームページ 5.新聞(紙名：)											
6.雑誌(誌名：) その他：()											

この申込書に記入された内容は物理チャレンジおよび国際物理オリンピック以外の用途には一切使用いたしません。